

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域(外部の方々)と交流がない。	事業所者同士、地域の方、ボランティア活動など協働しながら質の向上、ADLの低下防止等に取り組む。	地域の連絡会、他施設見学、他施設のイベントの参加、ボランティアの方に施設にきて頂いてのイベント再開。	12ヶ月
2	35	事業所内の自衛消防訓練や避難訓練実施できている。今後災害が起きたときに事業所としてどのように安全性を確保していくのか。	近隣施設への応援体制を整える。	年2回の消防訓練では既存の消防署の方に来て頂き、助言などをして頂く。地域の連絡会に参加して災害時の取り組みなどを共有し交流を図っていく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議時の構成委員として知見者が少ない。	各業種の専門職の方に参加して頂く。	外部との交流の機会を増やしていく。	6ヶ月
4	7	ご利用者様(スピーチロック、)家族様、外部の方に対する言葉遣い	風通し良く言い合える環境づくりに取り組む。	施設の理念やビジョンを職員に周知徹底し、小事が大事にならないように流さず歩みを止め、言い合える体制づくりをするためコミュニケーションや面談等を随時おこなう。	6ヶ月
5	19	施設が15年以上たち経年劣化の為、電気系統、建物に不具合が発生している。	入居されている利用者様が心地よく安心して過ごして頂く。	不具合が発生時は本社、外部の方の協力を得て早々に対応していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。